

第6回 森町上下水道事業の料金等審議会議事録

期 日 令和4年7月13日(水) 14時～15時

場 所 森町役場町民生活センター 2階 集会室

出席者 委員：佐藤和美、加藤久幸、川岸和花子、鈴木康之、鈴木寿一、山本玲子、岡田スミエ、大原直幸（委員名簿順による 出席者8名）

町 ：課長、課長補佐、水道課（2名）

コンサル ：大場上下水道設計（3名）

1 開 会

2 会長挨拶

皆様こんにちは。本日は大変お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

昨年の10月、町長より諮問をいただきまして、それから早9か月経つということでしょうか。この間に5回にわたっていろいろと審議を重ねてまいりました。

いよいよ今日答申の案について検討いただくということでございます。

今までと同じようにたくさんのご意見賜りまして、よりよい答申を作ってまいりたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

3 上下水道課長挨拶

皆様改めましてこんにちは。ただいま会長よりお話ありましたが、審議会も本日で6回目を迎えます。毎回活発なご意見、的確なご意見いただきまして本当にありがとうございます。

先月ですが、菊川市で漏水事故がありまして、3日間くらい断水ということで新聞報道でもありましたが、苦情等の電話が500件超ということでございます。それをみまして、私どもの水道事故の対応マニュアルを見直しているという状況です。これは、本町でこのようなことがあった場合、どういう対応をするかといったマニュアルでございます。有事の際にはスムーズに対応できるようにしたいと改めて思い知らされました。

本日は忌憚ないご意見をよろしくお願いいたします。

4 審議

(1) 議題 1

事務局より「答申書（案）について（資料 1）」の説明

(2) 質疑

会長

1 ページ目の「このような状況において森町の水道事業を安定的に町民に提供していくためには～」という文言があるのですが、この「水道事業を提供していく」という言葉が腑に落ちないなと。

使い慣れた言葉ではあるのですが、「森町の水道事業を持続して運営し、安心安全な水を安定して提供していくためには」というふうに変えてはいかがかなと思います。いかがでしょうか。「事業を提供する」というのはおかしいかなと思ひまして。

委員

全体にこれでよいと思うのですが、今は森町上下水道課となっていてそれでいいと思うのですが、昨年から検討してきたのは上水道のことについて審議してきたと思うのです。水道料金は上水道も下水道も同じところを使うと思うのですが。

ただこの中に色々出てくるのですが、水道事業、水道施設とあるのですが、下水道施設も持っているということなので、上水道というふうに改めて分けた方がいいのかなと思うのですが。

文面のなかで、水道事業とでてきますが、下水道事業についてはなにも検討していないので、そこのところはそうしたほうが良いのではないかと思います。

会長

皆様いかがでしょうか。上水道、下水道という言葉の使い方です。

いま下水道を取り扱っていない場面なので、水道料金で十分に通じるのかなという思いもありますけれども、皆様に伺いたいです。

委員

今言っているのは審議会の名称のことですか。

委員

そうではなくて、「記」として「森町水道事業を取り巻く環境は～」から書かれているところで、すべて水道事業、水道施設と書いてあるのですが、下水道のことは何も検討してきていないので上水道という言葉を入れた方がいいのかなと思うのですが。

事務局

水道ではなくて上水道としたほうがよい、ということですね。

委員

違和感はないのですが、ちょっと違うのではないかなと。水道事業という
と上下水道の両方を検討してきたように思われてしまうのではないかなと
思うのですが。

事務局

現状、答申（案）の中で「上水道」とはっきり記されているのはタイトル
です。「森町上水道の水道料金のあり方について」とここに書いてあるから以
降の文すべてにかかっていると考えるか、文章が続いているうちに分からな
くなくなってしまうと考えるか、両方ともあるのかなと思います。

委員

タイトルが「森町上水道の～」となっているので、以下は上水道なのだと
思っていました、言われてみればそういうふうに考えられないこともない
なと思いました。

委員

皆さんいうようにタイトルで上水道と書いてあるので間違いはないと思
うのですが、今はピンとくるのだけど、時が経つと、はっきりしといたほう
がよいのかなと思っただけです。

委員

第1回審議会に下水道の料金は変わらないのですね、と質問をしたので
すが、変わりませんという答えだったので、その認識でここにいる人はいると
思うのですが、一般町民として下水道料金は変わらないのか、いつも一緒に
請求が来るので下水道はどうなの、と思うことがあるので丁寧に書いておい
た方がよいかもしれませんね。

副会長

文章的には下までかかっているのだけど、私たちはそういう認識している
のでいいのだけど、他の方が見た場合どうかというと、今言われたように、
その方が分かりやすいかもしれないですね。

事務局

確かに、水道と一口に言いましても上水道だけでなく簡易水道、飲料水供
給施設などあります。おっしゃるとおり、今回話しているのは上水道に限っ
てのことです。

会長

この答申を書くときに「森町上水道の水道料金あり方について」と書いて
ありますが、その下に「森町の上水道事業を取り巻く環境～」、ここに例えば
「森町の上水道事業（以下、水道事業という）を取り巻く環境～」というふ
うに入れておくといいかなと。

委員

今言われた表現でいいような気がします。

事務局

「森町の上水道事業（以下、水道事業という）を取り巻く環境～」というような表現でよろしいですか。

会長

はっきりさせておきたいのが、この審議会は「森町上下水道事業の料金等審議会」なのですね。そもそも最初に下水道料金については審議しないということが1回目の議事録にできているわけですね。諮問は上下水道事業ですか。

事務局

諮問の内容自体が「森町上水道の水道料金のあり方」です。

会長

わかりました、諮問は上水道なのですね。では、下水道について書く必要はないです。諮問に合わせて答申を書きます。

事務局

諮問について書類を確認しましたが、タイトルが「森町上水道の水道料金のあり方について」です。

会長

分かりました、ではこの答申で大丈夫です。

水道、上水道の記載の仕方については、そのような形で取り扱うということで皆様よろしいでしょうか。

委員

はい。

会長

他にございますでしょうか。

私の方からもうひとつ、続けざまに申し訳ないのですが、これもよくある文言なのですが、水道事業が独立採算制事業であるということを明記しておいた方がいいのではと思います。

どこに入れるのがいいのかなと思ひまして、「2. 水道料金改定にかかる検討について」、この下に「水道事業が独立採算事業であり、その水道料金収入で運営されることが原則とされている。森町水道事業では昭和 49 年の事業開始以来、料金の改定(消費税改定に伴う改定を除く)を行っておらず、前述の経費削減に努めつつ水道施設の更新や耐震化を進めてきた。しかしながら、現状の有効率の低さなどを踏まえると、施設の更新事業や耐震化事業を一層強化して推し進める必要があり、その財源の確保が求められている」という

ような言い方をすると、料金の値上げというところに行きつくのかなと思った次第なのですが、その後、いろいろな計画を策定しているということにつながっていった、そして最後に「これらの計画及び今後の財政収支見通しから、持続可能な水道の安定供給、事業の健全経営を今後も持続するためには水道料金の見直しが必要であるとの判断に至った」といかがでしょうか。

このような文言を付け加えてはと思ったのですが、この文言がすべて正しいというわけではなく事務局の方でまた考えていただいても結構でございます。

ただこれくらい説明を多くした方が、水道料金の見直しの必要性という意味では説得力があるのかなと思ったところです。

事務局

ありがとうございます。お話をまとめさせていただきますと、「2. 水道料金改定にかかる検討について」というところで、最初の部分に「水道事業は独立採算事業であり～」から始めて、その前段の「更新や耐震化を進めてきた」というところに「しかしながら、現状の～」で続けていく、その後に「また、平成28年度には～」と繋げていくということによろしいですか。

会長

はい、他にご意見いかがでしょうか。

私の方からもうひとつ伺います。

「5 料金体系について」ですが「(1) 超過料金」は(2)も超過料金となっていますが。

事務局

すみません、(1)は「基本料金」です。

会長

「(1) 基本料金と基本水量について、(2) 超過料金」のほうがわかりやすいですね。

事務局

「～について」は必要ですか。

会長

「～について」はいらないです。

事務局

「(1) 基本料金・基本水量、(2) 超過料金」。

会長

上が全部「～について」なんです

大きい1から5については「～について」にして、内訳項目はなくてもすっきりすると思います。6と7は「～について」は入れますか。

事務局

「7 付帯意見について」だとおかしいので「(1) 基本水量について(2) 基本料金について」としました。

会長

では6だけ「6 料金改定日について」にして、後はこのままとします。

もうひとつ感じたところがあるのですが、「3 料金の算定期間について」なのですが、われわれは改定期間を3年としたわけですが、今回、私たちの決めた事柄は、要するに令和5年度～令和7年度、ここに限っているわけです。もしかしたら次の令和8年度以降は改定期間が4年か5年になるかもしれないわけです。

ということは、この審議会で決めたこととしては、「料金改定の算定期間は令和5年度～令和7年度の3年とすることが望ましい」という表現のほうが正確なのかと思います。その下の「4 料金改定率について」に「料金算定期間を令和5年度～令和7年度の3年間とし」とまた書いてあるのですが、2度出てきてもいいのかと思うのです。

下にあわせて「令和5年度から令和7年度の3年間とすることが望ましい」と表現した方がよいと思うのですが、いかかでしょうか。

事務局

改めて確認させていただきます。

「料金改定の算定期間は令和5年度から令和7年度の3年とすることが望ましいという判断になった。」ということでよろしいでしょうか。

会長

すごく細かいのですが、「4 料金改定率について」では「3年間」なのですが、この辺の使い方は、どうでしょうか。

事務局

日本水道協会の要領から引用した部分には「間」は入れられませんが、他のところに入れるのは、審議会としての答申なのでよろしいかと思います。

会長

では「3年間」としますか。

委員

その方がいいと思います。算定期間を令和5年度～令和7年度と年で区切っているなのでそこは「間」と入れた方がいいです。

「3年」では範囲を言っただけになるので、年数を入れるのであれば「間」のほうがいいです。

会長

では他にご意見いかがでしょうか。

(意見なし)

それでは意見も出尽くしたようですので、答申につきましてはこのような形に修正していただくということでよろしくお願いします。

(3) 議題2 その他

事務局

次回審議会については、完成した答申書を町長にお渡しする段取りの日となっております。その時の集まり方、審議会の開き方の確認をしたいと思います。

方法として二つありまして、まず一つ目が、会長、副会長が代表として町長に直接答申するというやり方、二つ目が、審議会として全員集まった上で答申するというやり方です。

皆様のお考えを頂戴できればと思います。

委員

会長と副会長には大変ご足労ですが、ぜひ一つ目で選択していただければと思います。

会長

他の皆様いかがでしょうか。

委員

それをお願いいたします。

会長

それでは一案ということをお願いします。

事務局

承知いたしました。一案を採用させていただきます。

先ほどの答申書(案)の訂正につきましては、メール等で会長と確認のやりとりをさせていただきまして、完成した答申書を会長・副会長・町長の予定を調整の上でお渡しするという流れになります。よろしくお願いします。

それでは、本日をもって今回の審議会の内容が全て終了したことになります。つきましては、会長から一言ご挨拶を頂戴できればと思います。

会長

もう一回審議会が開催されるかなと思って参りましたので、これで皆様とこうやってお目にかかるのが最後だということになると急に淋しい思いがします。

今回の協議含めまして、6回の審議会で、皆様方の本当に忌憚ないご意見たくさん賜りまして、議事を進める側の立場として大変やりやすく、ありがたい思いで毎回臨んでおりました。本当にありがとうございました。

事務局の方々、大場上下水道設計の方々にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

5 閉会

(訂正した答申書について、後日委員へ郵送する旨連絡)